

# 令和4年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成 ～長久手市行政評価・外部評価～

## リニモテラス事業

くらし文化部 たつせがある課

まちづくり、まずは笑顔でこんにちは

長久手市はあいさつ運動に取り組んでいます

# 1 事業概要

## ◆事業名

リニモテラス事業

## ◆事業の開始の背景、経緯等

第5次長久手市総合計画で掲げる将来像「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」の実現に向けて、主要プロジェクト「リニモテラス構想※」を掲げた。

※リニモテラスをまちの顔として整備し、市民が集い、訪れる人をもてなす場を創出すること。

## 2 事業の実施体制

### ◆組織体制、人員

くらし文化部 ——— たつせがある課 ——— 地域協働係  
交流商工係

役職	人数
たつせがある課長	1人
課長補佐（交流商工担当）	1人
係長	1人
主事	1人

### 3 事業目的等①

#### ◆事業内容（どのような事業なのか）

リニモ長久手古戦場駅前に、まちの新たな顔として、公益施設、大型商業施設等で構成される「リニモテラス」を整備する

#### ◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

市民、長久手市来訪者

### 3 事業目的等②

#### ◆事業意図（対象をどのような状態にしたいか）

市民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出する。

#### ◆事業を構成する事務事業【今後の方向性】

① リニモテラス整備事業

② リニモテラスにぎわい創出事業

③ リニモテラス公益施設管理事業

④ 中央2号公園改修事業

## 4 成果推移

### ◆成果指標（単位）

リニモテラス公益施設の事業運営に関わる市民の数

### ◆指標の設定根拠

リニモテラス公益施設の事業運営に関わる市民の数

### ◆数値目標の根拠

開館から1年が経過したことにより、施設認知度の向上と当該施設の役割が広く周知されてきたことから、開館後に初期設定した960人から、毎年10人×12か月＝120人増加していく指標を設定する。

# 5 これまでの振り返り

## ◆目標達成状況・分析コメント

新型コロナウイルス感染症の影響によって、大型のイベントなどは自粛する一方で、本施設のテーマに則した内容で指定管理者及びリニモテラス運営協議会を始めとする関連団体による持続的な活動を展開することで指標の達成に寄与した。

## ◆活動エピソード

持続的な活動として、観光交流協会による観光案内所運営、国際交流協会による集いの広場やオープン日本語教室などを展開するとともに、四季イベントとして、各季節をテーマにして指定管理者及びリニモテラス運営協議会による市民参加型イベントを行った。

## ◆改善ポイント

開館初年度及びコロナ禍の影響もあり、当該施設の来館者は当初目標を達成することができなかった。ただし、次年度以降は、開館から1年が経過することによる施設認知度の向上及び隣接する長久手中央2号公園のリニューアルオープンに伴って、今後は一体型の施設利用が見込まれるため、改善傾向になることが想定される。

## 6 事業の今後

### ◆事業の今後の方向性

リニモテラス公益施設において、リニモテラス運営協議会と指定管理者が連携して、市内外に向けた発信力のある事業を企画・運営する。また、2号公園のリニューアルに伴い、公園と公益施設が一体となった事業を実施できるようにする。

### ◆事業の中長期の目標

リニモテラス公益施設でリニモテラス運営協議会と指定管理者の連携による指定管理事業を確実に実施する。長久手中央2号公園については、長久手中央2号公園利用促進協議会を立ち上げたため、同協議会を中心に様々な団体の連携による公園の運営ができるようにする。



# 7 事業のまとめ

## ◆事業の課題など

長久手中央2号公園のリニューアルに伴い、リリモテラス事業としてのハード面の整備は完了したため、今後はリリモテラス公益施設及び当該公園の一体的な活用展開が見込まれる。その中で、意欲的なプレイヤー（能動的な市民・活動者等）をより運用面に携わっていただけるようなスキーム作りをリリモテラス公益施設指定管理者、リリモテラス運営協議会、長久手中央2号公園利用促進協議会、新たな活動プレイヤーと議論して進めていくことが求められる。

## ◆外部評価実施者に助言をもらいたいことなど

施設認知度について

リリモテラス公益施設は令和3年6月の開館から約1年が経過し、一定の能動的な市民の活動が展開される動きがある一方で施設来館者数については課題がある。イベント時なども含めてSNSを活用したPRはしているが、より来館者を取り込む動きとしてどのような方法が考えられうるかご助言いただきたい。